

おおむた

輝人

クリエイティブ・ディレクター / 詩人
道山 智之 さん



大牟田が世界に 羽ばたけるように

広告会社に身を置き、クリエイティブ・ディレクターとして、主にCMを作る仕事をする一方、詩人としても活動しています。
幼少の頃は内気でおとなしい子どもでしたが、小学生の時に先生に褒められた事や詩が「せきたん」に入選した事で、自分に自信が持てるようになり、その後、自作の漫画を友達に見せたり、学級新聞や紙芝居を作ったりすることが好きになり、これは現在の仕事にもつながっています。自分がドキドキするものを作って、誰かに届けることが好きなんです。そのため、短いながらも、人を信じられること、うれしさや大切な気持ちなどを盛り込んだ、自分ならではの作品を作り続けています。競争の激しいCMプランナーの世界で生き残ってこられたのは、人が向かない方向を向いていたからかもしれない。その感覚が身に付いたのは、大牟田特有の空気のおかげだと思



ポエトリーリーディングで、子どもたちに言葉の素晴らしさを伝えます

っています。自分自身大牟田を長い間離れていて、初めてその良さに気付き、2015年に世界遺産に登録されたときに「世界は見ていてくれた。もっとアピールせんともったいなか！」という気持ちがつづり、2017年に大牟田への愛情が詰まった詩集「水の記憶」を発行。続く翌年、大牟田大使に就任し、それからは全力疾走です。動物園でポエトリーリーディング（詩の朗読会）を開催させて頂き、映画にも関わることが出来ました。名誉なことに「いのちスケッチ」というタイトルを命名させて頂きましたが、映画のテーマを伝えつつも、リズム感を大切にしたい、大牟田が世界に羽ばたいてほしいという願いを込めています。
「かつて日本を代表するほど繁栄したまちの文化は素晴らしい。今も世界を照らしてくれている」とみんなに思ってもらえるようになったらうれしいです。まだまだ自分もがんばります。

押し花文化 のふるさと・おおむた

作品名 華やかなクリスマス
作者 前原 貴美代

ポインセチアが『クリスマスの花』と言われるのは、その“色”にあるそうです。クリスマスカラーの赤は「キリストが流した血の色」、緑は「永遠の命や愛」、白は「純潔」を表します。葉が赤と緑、樹液が白のポインセチアがクリスマスを華やかに彩ります。

その花言葉のとおり、今宵、「聖夜」と“幸運を祈りましょう”



大牟田押花の会

編集後記

▼もともと映画が好きで、仕事帰りの映画鑑賞も楽しみのひとつでしたが、まさか大牟田市が舞台の全国規模の映画を見る日がくるとは！▼幸い仕事上でも映画に関わることができ、昨年の制作発表会

見から一年あまり、貴重な体験もさせていた。▼映画自体も特集記事で紹介している皆さんの感想と同じで、感無量のひと言。瀬木監督をはじめ、映画に携わった皆さんに感謝します！（真）